

# FUJINO gradation



助けあって  
活かしあって  
理解しあって  
成長していく、  
コミュニティの  
これからの未来へ。

2023  
11.05 Sun. 10:00 START 雨天決行

会場 シュタイナー学園 初等部・中等部 (名倉校舎)

## information

今年、藤野まるまるマルシェはクラウドファンディングに挑戦しています。

“自然、芸術、教育など多様な価値観が共生する藤野の地域の活性化のために開催しているこの「藤野まるまるマルシェ」が持続可能なイベントになるよう、そして藤野のもっと面白い未来のために、皆さんの応援をよろしくお願いします。”

クラウドファンディング企画運営：丹羽運一郎 / 大学一年生(シュタイナー学園卒業生)



クラウドファンディング限定  
COME+UNITY [=community, 一つになろう]  
メッセージのオリジナルデザイン  
Tシャツ、エコバッグ、手ぬぐいなどの  
リターン品を準備しています



クラウドファンディング応援はこちらの特設ページから

応援、協賛いただくみなさまのお力をいただきながら藤野まるまるマルシェがさらに盛り上がり藤野のまちの美しい自然や伝統文化、地域の温かいつながりが強まっていくことがこのイベントの開催への思いです。

## access

都内から藤野まるまるマルシェ会場「シュタイナー学園」への交通アクセス

### 電車でお越しの方

JR中央本線「藤野駅」下車→  
シャトルバスにご乗車ください。



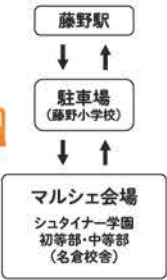
### 車でお越しの方

中央自動車道相模湖 ICより→  
マルシェ特設駐車場(藤野小学校校庭)へ駐車し  
シャトルバスにご乗車ください。

※会場付近の駐車場は数が限られております。  
できるだけ公共の機関またはマルシェ特設駐車場に駐車していただき、  
シャトルバスでお越しください。



無料シャトルバス  
が巡回します!



シャトルバスでのご来場にご協力ください

シャトルバスの停車場と時刻表、特設駐車場についてはホームページやSNSにてご確認ください。

詳しくはホームページ <https://fujino-marche.com>

Facebook, Instagram 「藤野まるまるマルシェ」もご覧ください。

主催：藤野まるまるの会

協力：シュタイナー学園 藤野ふるさと芸術村メッセージ事業



誰かにつながっているという安心感の中で、  
自分自身や子どもを見つめられるような場所があったら



## BIG HUG

佐藤 芽以子 さん

「お母さんと赤ちゃんが健やかに過ごすための環境作りを」BIG HUGという屋号で提案している佐藤芽以子さん。女性の身体に優しいお茶やお菓子のプロダクトの販売やセルフケアのアドバイス、カウンセリングや施術を通して、お母さんが自分の身体と心に向き合い整えるための発信を行なっています。

「お母さんが藤野に移住してきたのは2017年のこと。当時、産んだ娘さんの子育ての場所を探し、出会った藤野。ベビーカーを押して駅に降り立ち、小さな町をぐるりと歩いたその日に、移住を決めたそうです。」  
「里まつち」という藤野の物件を紹介してくれる空き家バンクに行ってみ

「徐々に施術だけでできることに限界を感じるようになったんです。子どもたちが笑っていられる社会、お母さんが笑っていられる社会を築きたい。現代は不調になるまで身体や心に目を向けるゆとりがなかなか持てないけれど、妊娠をきっかけにお母さんが

自分自身を知り、整える力を育む、そんなサポートができたら子どもたちや社会にも良い循環が生まれるのではないかと思います。」  
BIG HUGでは現在マニティクラスと産後クラスを対面・オンラインの両方で行っている他、地域に根ざした活動の場として藤野でお母さん、お父さんと子どもが集える「cozy」というスペースを運営しています。

「この社会は核家族で『子ども』を知らないままお母さんになる人も多いと思います。そんな時に誰かにつながっているという安心感の中で自分自身や子どもを見つめられるような場所があったら」と思い、BIG HUGを描いていることの実験と実践の場として、地域の仲間と「cozy」を運営しています。



「さまざまな食スタイルを持つ人がそれぞれ楽しめるお店にしたいな」とお母さん。お母さんが藤野に暮らしはじめたのは2016年のこと。息子のシユタイナー学園入りがきっかけでした。「子どもが産まれる前にシユタイナー教育に出会い、子どもたちは都内のシユタイナー園やシユタイナーの土曜学校に通っていました。もともと製菓学校でお菓子を学んだこともあり、幼稚園や土曜クラスでおやつ焼き菓子を担当することになったんです。子どもたちが藤野のシユタイナー学校に入ってからお菓子の活動は続けていきましたが、まさかお店を持つなんて夢にも思っていなかった」と話すお母さん。

BIG HUG



instagram:  
@mom\_baby\_flow



鍼灸マッサージ師としてお母さんたちのボディケアはもちろん、お父さんや子どもたちも定期的に集える場「cozy」を運営。みんながそれぞれ自身自身に向き合い整えられるように。



インの活動にも力を入れていきたいと思っています。同時に藤野で出会ったさまざまな活動をしている人たちが地域のお母さんたちともつながりあって、出産ギフトや赤ちゃんのためのプロダクトなど子育てに楽しく向き合える新しいプロダクトも作りたいです。」



さまざまな食スタイルを持つ人が  
それぞれ楽しめるお店に

## café nino

藤野 紀枝 さん

「ハリネズミのマークと青と白で整えられた店内が印象的なcafé nino。2021年の春にオープンしたcafé ninoは常連さんをはじめのお客さんも心地よく過ごせるおだやかな空気が流れるお店です。サンドイッチやスープ、ケーキにスクーン、マフィンにドーナツ。動物性食材を使ったメニューと植物性食材を使ったヴィーガンメニューが揃っています。」



動物性・植物性どんな食スタイルの人にも美味しくやさしいメニューがたくさん

café nino  
instagram:@nino\_harinezumi

それぞれの人の「色」、多種多様な価値観が織りなすまち、藤野。  
そんな藤野をいま、新しく彩る人たちにインタビュー。

「さまざまな食スタイルを持つ人がそれぞれ楽しめるお店にしたいな」とお母さん。お母さんが藤野に暮らしはじめたのは2016年のこと。息子のシユタイナー学園入りがきっかけでした。「子どもが産まれる前にシユタイナー教育に出会い、子どもたちは都内のシユタイナー園やシユタイナーの土曜学校に通っていました。もともと製菓学校でお菓子を学んだこともあり、幼稚園や土曜クラスでおやつ焼き菓子を担当することになったんです。子どもたちが藤野のシユタイナー学校に入ってからお菓子の活動は続けていきましたが、まさかお店を持つなんて夢にも思っていなかった」と話すお母さん。

「café ninoをはじめたきっかけ、それは藤野で生まれた人と人とのつながりだったのさそう。」  
「2020年にコロナが蔓延した時、café ninoの物件をかわいい建物だなと眺めていたんです。近所に住む建築家のお友達に話したら物件に詳しいお友達のとこに一緒に行ってみようとなり、お友達が今度は空き家バンクの担当の方と商工会を紹介してくれ、商工会で「創業支援ですね、何ができますか?」と聞かれ、「お菓子ですかね?」と話していたら、補助金があることになり、建築家の友人が設計書いてくれ、家具職人の知人がテーブルや椅子を作ってくれ、高等部の学びで忙しかった息子がお店の壁やドアを塗ってくれ、ちょっとした思いつきがあればあれよと進んで行った。開店を前にして自分にはできるかな不安で友人たちに泣きついていたら、「笑」café ninoがオープンして2年後、息子さんにはシユタイナー学園を卒業されました。「まさか子どもが巣立った後、藤野に残ってお店をやるなんて想像もしていなかった。でもずっと子ども中心にやってきて、子どもに「生懸命関わっている間に会ったたくさんの人とのつながりが新しいこの未来を運んでくれた夫の謙」さんにも仕事を辞めてくれた夫の謙さんにも仕事を辞めてくれた夫の謙さんという展開も予想外の未来だったさそうですが、今では月に一度ピストロケケンとして、お店で謙さんのディナーも振る舞われています。」  
「夫婦の飾らない人柄と掛け合い、そこで生まれるおしゃべりもcafé ninoの魅力の一つ、今日もきっと、お店には明るい笑い声が響いています。」

それぞれちがう人同士だからこそ生まれる

『第3の道』を大事にしたい

2022年春に家族で移住し、去年からまるまるマルシェの実行委員としてデザイン面などで運営に携わっている松村剛さん。本の装丁やグラフィックデザインを行ない、絵を描く。剛さんにとって絵やデザインは仕事でもあり、内なる声の表現でもあるといえます。剛さんにとって大きな転機となったのは2016年、暮らしていた地元熊本で起きた大地震を経験したことだったそうです。

「当時は理学療法士として働いていたのですが、地震をきっかけに自分から納得できる生き方がしたいと思いました。妻と世界各地を旅して本当の幸せって何かかと考え続けていました。その後起業し、ヨガの講師をしながら、なかなか思うようにいきませんでした。ある時家で幼い娘と絵を描いていた時、自分は子どもの頃絵を描くのが大好きだったことを思い出したんです。娘と絵を描きながら、旅をしながら感じていたこと、でもその時は漠然としていたことが一つつながっていくような感覚になりました」

その後、2018年からSNSで作品を投稿し始める、徐々にイラストやデザインの依頼が来るようになっていったそう。

「絵の制作のテーマは『自分の中に楽園がある』ということ。外側に求められているのではなく、自分の内側にあるものを見つめること。心理学を学んでいた妻も、もがいていた僕に『自分の中を見れば全てわかるよ』と書つてくれました。そして幼い娘に自分の心を素直に表現することを教えてもらったんです。2人の力もあり、やっと自分自身と向き合えた中で出てきたことが絵やデザインだったんです。ずっと何かや誰かと比べ焦ったり否定したりもしてはいたけれど、自分を本当に大切にできたら抵抗しなくても心地よく生かされるんだ、ということも気がきました。そんな気が経ても、家族で移住を決めた剛さん。二番のきっかけは娘の学校です。社会の画一的な価値観に自分たちが

TSUYOSHI ARTMAN studio

松村 剛 さん

【まるまるマルシェ実行委員】



「子どもの頃アレルギーがあり、ケイが憧れてました。アレルギーがよくなり、幼い頃から夢だったパティシエにむかって『直接！』と製菓学校を出てすぐ働きつめ、長時間労働と食事かわりにお菓子の試食、という日々で身体がおかしくなっていました。そんな時たまたまマクロビオティックの本に出会い、本に書かれていた不調を食べ物とのつながりがそのまま自分にあてはまった。白砂糖をたくさん使うお菓子を作り続けることは難しい、と思いましたが、小さな頃の経験からいつかアレルギーフリーのお菓子を作りたいと思っていたこともあり、動物性調味料やお砂糖を使わないお菓子作りを始めました。都内のヴィーガンレストランのシェフパティシエとして動物性フリーのケーキやお菓子の開発を重ねた美香さん。「シェフパティシエとして働いた5年の間に結婚と妊娠という転機がありました。いつか独立したいと思っていたし、仕事は忙しく子育てしながら続けることも難しかった。妊娠・出産を機に tsumugi菓子 を立ち上げました。最初は長女が5ヶ月の頃、マルシェ出店からのスタートでした」

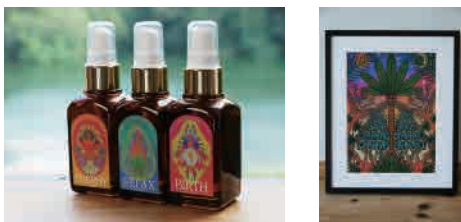
「『第3の道』を築こう、と声にする人として、自分もこの地のコミュニティに関わってきたいし、自分の役割がきっとあると今感じています」

助けあつて活かして理解しあつて成長していく。マルシェの今年のテーマ「FUJINO Gradation」にも重なるような松村剛さんのお話でした。

TSUYOSHI ARTMAN studio



instagram: @tsuyoshiartman



フラワーエッセンスのラベルデザイン、オラクルカードやCDジャケットのネットワーク制作など、自然の観智や人間の精神を描き出している。

お菓子にも子どもたちにも、  
どちらにも向き合い大切にしながら  
進んでいきたい

tsumugi菓子

飯尾 美香 さん

藤野のお隣にある相模湖に2021年にオープンした「tsumugi菓子」は毎月25日のオープンデーと、オンラインショップでヴィーガン&グルテンフリーの焼き菓子や販売する焼き菓子店。店主の美香さんは、もともと都内有名店でフランス菓子を焼いていたそう。そんな美香さんがヴィーガン&グルテンフリーのお菓子を作るようになったきっかけは、ご自身の身体の不調でした。

「子どもが木登りしたり、横足で駆け回ったりすることも難しい子育てに思苦しさを感じていました。幼稚園や小学校の情報を見て疑問に思うことも多く、子どもがのびのび過ごせる場所や学校はないのかなと。わたし自身シユタイナー教育を取り入れた幼稚園に通っていたことを思い出して、あなたもだっただんなだらう、と思いたたかいたことを思い出し、なりたい自分を知り、『ここだ！』と。夫と藤野に足を運んだり学校説明会に行き、家族で移住を決めました」

「二人目のお子さんも誕生し、tsumugi菓子と子育ての両立に奮闘していた美香さんが都内を離れ、里山への移住を考えたきっかけも子どもたちだったそうです。

「子どもが木登りしたり、横足で駆け回ったりすることも難しい子育てに思苦しさを感じていました。幼稚園や小学校の情報を見て疑問に思うことも多く、子どもがのびのび過ごせる場所や学校はないのかなと。わたし自身シユタイナー教育を取り入れた幼稚園に通っていたことを思い出して、あなたもだっただんなだらう、と思いたたかいたことを思い出し、なりたい自分を知り、『ここだ！』と。夫と藤野に足を運んだり学校説明会に行き、家族で移住を決めました」

「ここに来て、やりたいと思っていたことが全部できました。本当はもっとお菓子に向き合いたかったし、お店もあげたい。でも子どもたちの今にも向き合いたい。そんなふたつの気持ちを大事にしながら、これからも進んでいきたいです」



「子どもが木登りしたり、横足で駆け回ったりすることも難しい子育てに思苦しさを感じていました。幼稚園や小学校の情報を見て疑問に思うことも多く、子どもがのびのび過ごせる場所や学校はないのかなと。わたし自身シユタイナー教育を取り入れた幼稚園に通っていたことを思い出して、あなたもだっただんなだらう、と思いたたかいたことを思い出し、なりたい自分を知り、『ここだ！』と。夫と藤野に足を運んだり学校説明会に行き、家族で移住を決めました」

「子どもが木登りしたり、横足で駆け回ったりすることも難しい子育てに思苦しさを感じていました。幼稚園や小学校の情報を見て疑問に思うことも多く、子どもがのびのび過ごせる場所や学校はないのかなと。わたし自身シユタイナー教育を取り入れた幼稚園に通っていたことを思い出して、あなたもだっただんなだらう、と思いたたかいたことを思い出し、なりたい自分を知り、『ここだ！』と。夫と藤野に足を運んだり学校説明会に行き、家族で移住を決めました」

tsumugi菓子



instagram: @tsumugi\_gashi



お店では環境負荷への配慮としてゴミ削減にも努めている。持ち帰り用の容器を持参し、買い物をする嬉しいサービスも。



お店では環境負荷への配慮としてゴミ削減にも努めている。持ち帰り用の容器を持参し、買い物をする嬉しいサービスも。

# ローカルフード Local Food

藤野内外の個性的なお店から  
カラダもココロも喜ぶ  
本当においしいものをお届け



**うどん屋うんど**  
うどん好きが高じて独学で手作業にこだわり、人間のお腹を幸せにしたい気持ちで創っている。種類好きには是非とも食べていただきたいです。最近では醤油も作ってとか、LOVE うどん



**藤野良品店**  
タンザニア産有機カカオ豆と有機砂糖だけで作ったチョコレートに有機バナナをたっぷりディップしたオーガニックな生チョコバナナをご提供します。



**Pâtissière Risa**  
Bonjour! フランス焼き菓子リーザです! 幸せ広がるお菓子を作りたいと、体にも環境にも優しいお菓子を模索しています



**ハシドイ + moss**  
今年も蔵から飛び出して出店! ヴィーガンアラファエルサンドとスイーツ。お楽しみに!



**大和家 Yamato-Ya**  
本格中国料理と餃子のお店。地元野菜をつかったメニューをどうぞ。



**ス・スマートパン**  
週に2日だけパン焼きをする、わがままパン屋です。



**café nino**  
藤野から一駅先の上野原で小さなカフェを開いています。図書館の前のハリネズミの看板が目印です。時々イベントに飛び出すハリネズミです。



**Bitteのパン**  
東京三鷹市から移って来ました小さな小さなパン屋です。酵母から作り、全て国産小麦粉とできるだけ有機の素材で焼きあげます。どうぞの気持ち、おめしあがりください。



**tsumugi菓子**  
相模湖で月に1度オープンしています。オーガニック素材の美味しい焼き菓子小麦、卵、乳製品、白砂糖不使用



**Haumühle**  
淵野辺にある本格的なドイツパンのお店。ライ麦を使ったずっしりとしたパンをお楽しみください。



**5's kitchen (真鍋流農園)**  
手作りのブルーコントールティーや食べ応えしっかりな本格「ベジタコス」をご用意!



**doni** 野菜たっぷりの料理と身体を作るお菓子。野菜のラザニアや酵素玄米、身体にいい素材で作る、乳製品フリーのタルトやデザートをどうぞ。



**シロテナリcafe**  
全てオーガニックのヴィーガンカフェ。地元野菜ベジご飯、自家焙煎スペシャルティコーヒー、甘味など本当に美味しいものをどうぞ



**2bananeira**  
無農薬・無化学肥料の露地野菜をつかった植物性100%の料理と焼き菓子をケミカルフリーで提供します。



**土とシェフ**  
無農薬有機栽培の農家兼料理人、世田谷の無添加中華「広味坊」の元総料理長、食のサステナブルアワード金賞受賞。

# ショップ & ワークショップ Shop & Workshop

オーガニックやエシカルなファッション&雑貨、そして体験ができるワークショップも



**GOOD NIGHT SUIT**  
オーガニックコットンを100%使用し、生産者、地球に焦点を当てたバイジampブランドです。



**puipui -aroma witchery-**  
オーガニック、自然栽培の精油とオーガニックな素材でつくるバスボム、バスソルトを販売します。



**蘇.~yomi**  
彩り美しい多肉植物。こだわりのアレンジで、器の中に広がるサキユレントワールド。



**Botanic Green**  
天然素材を使ってファッションアイテムを製作しています。草木染めも得意としています。



**BIG HUG** total conditioning support for mom  
女性の日々のゆらぎをリバランスするアイテム。妊娠中から整えることの大切さを伝える出産ギフトetc



**家族と一年商店**  
ソーシャルグッドをテーマにした環境と人にやさしいエシカルグッズを扱っています。



**どんぐり文庫古本屋**  
吉野自治会図書館で毎週日曜日13時~16時、絵本・児童書の貸し出しをしています。



**静.**  
ニャンドゥティ刺繍ピアス、サンキャッチャー、藤野の竹かごの販売、竹かごワークショップ



**NPO法人自然体験学校みどり校**  
手作りの鉛筆作りとロープワークの体験を通じて、参加者の皆さまに自然と触れ合う楽しさを体験していただきます。



**Metal NEKO**  
CO2がほとんど出ない水素ガスを使って、ステンレスの小さじを作ってみませんか。



**ふじの森のようちえん** てって  
藤野の森や川で活動しています。ぜひ遊びに来てくださいね。



**あくびがうつる**  
演劇チーム「あくびがうつる」の小さな演劇のお店です。持って帰れる、ささやかな演劇をします。



**相模湖ダムの歴史を記録する会**  
相模湖・ダム建設の歴史を掘り起こしてきた会によるダム建設の写真展示と解説。地域の歴史を知る機会に。

# Stage

会場を楽しくあたたかくつむこむ歌や楽器、踊りや劇などのパフォーマンスがたくさん



**語りとアコーディオン「注文の多い料理店」**  
東京から狩にやって来た二人の若い紳士が、山で迷ってしまい……という舞台はもしかしたら、ここ藤野かも? 秋らしく色づいた里山で宮沢賢治の世界をお楽しみください。



**王将's**  
幼稚園のお父さんたちで結成したバンドです。拙いながら精一杯、本気で演奏します! みなさんで一緒に盛り上がりましょう!!



**いつおじ**  
今年は「やりたい」を詰め込みました。踊りまくります。ワークショップもやるのでぜひ遊びにきてください!



**おへや (マルシェスペシャルバージョン)**  
一輪車とハンドパンを使った演劇作品です。不思議なおへやに閉じ込められてしまった二人。どうしたらお外に出られるの!?



**藤野おやじギターバンド**  
青春時代にギターに憧れていた親父たちが集まり、第二の青春をしています!



**ジュタイナー学園ライアークラブ**  
ジュタイナー学園のクラブ活動で毎週、小学5年生から高校生まで一緒に楽しく練習しています。



**りゅうじゅとみつこ**  
音楽好きな2人が奏でる夫婦ユニット。シャンティな気持ちになる音楽。全ての人が好きな事をして生きて欲しいと思い、祈りをこめて唄っている。

# 特別企画

## ジュタイナー学園 卒業生座談会

「卒業生~それぞれの道篇」・「卒業生×教員」の二本立て!

ジュタイナー教育に  
関心がある人、集まれー!

# Farmer's Market

藤野周辺の地元農家さんによる  
さまざまな農法で育った、新鮮で  
とってもおいしい野菜たち

## ファーマーズマーケット



**峰麓舎**  
峰山の麓で山の恵みを活かして固定種の野菜を育てています。



**野生農園ザ☆ばん**  
野生の力で元気がいっぱい育った自然栽培野菜と、それを使ったポテトチップスなどの加工品を販売します。その他ちっちゃな木彫りなどの手作り雑貨も!



**ゆい農園**  
「ピオ市」や渋谷の「Urban Farmers Club」で仲間たちと活動の場を広げています。



**傘松ファーム**  
平飼い鶏の有精卵+パーマカルチャーや自然農法を活用した有機野菜を販売します。

このほかにも出店・出演がたくさん!  
詳しくはSNSやWEBでチェック!  
**and more!!!**

